

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科 国語 科目 論理国語 単位数 3 単位

対象学年組 第3学年 1組～7組

使用教科書 （「論理国語」筑摩書房）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使用とする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関りの中で伝え合う力を高めようとする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨こうとする。

科目 論理国語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関りの中で伝え合う力を高められている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「ことばへの問い」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 ことばによって語るという行為の意味を考える ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」 「現代文キーワード読解(Z会)」 「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう			○ ○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	「ものごと」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 ことばによって語るという行為の意味を考える ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」 「現代文キーワード読解(Z会)」 「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう			○ ○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	1
	「ポピュリズムとは何か」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 抽象的な対象についての思考を具体的にまとめる力をつける ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」 「現代文キーワード読解(Z会)」 「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう			○ ○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	「物語と歴史のあいだ」 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 抽象的な対象についての思考を具体的にまとめる力をつける ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」 「現代文キーワード読解(Z会)」 「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう			○ ○	【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10

[illegible]

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様なかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学期	単元 評論・随想 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	・指導事項 評論文の構成、言葉について理解を深める。 ・教材 補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等		○	【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	単元 説話・歌物語 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の心情や主張の理解 ・教材 補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等		○	【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのついて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査					○	○		1
	単元 評論・随想 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	・指導事項 「物心二元論」「近代」について理解し、認識を深める ・教材 補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等	○	○	【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	単元 説話・歴史物語 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の心情や主張の理解 ・教材 補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等	○	○	【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのついて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の理解や解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15

[illegible]

3 学 期	や文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等		○	○	【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	単元 物語 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の主張 の理解 ・教材 補助教材等 ・一人1台端末の活用 等 意見の発表や交換等		○	○	【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのついて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解している。	○	○	○	10
										合計
										140

年間授業計画 様式例

府中 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

使用教科書：（ 詳説日本史探究 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される主権者としての自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される主権者としての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	近世への転換と歴史的環境 【知識及び技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。	織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する	近世への転換と歴史的環境 【知識及び技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。	○	○	○	23
	近世の国家・社会の展望と画期 【知識及び技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社	中世から近世への転換の理解や時代を通観する問い、(2)で表現した近世を展望する仮説を踏まえ、資料を扱う技能を活用し、近世の国家や社会の	近世の国家・社会の展望と画期 【知識及び技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社				

1 学 期	の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	○	○	○	23
	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○		1
	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現すること。	政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、天皇を中心とした統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至った過程を扱い、「新政府はどのような国家を目指したのだろうか」などの課題（問い）を設定し、日本の対外政策の転換の影響や、幕府と藩による支配体制の行き詰まりを背景に、新たにどのような国家が構想されたのかを考察する	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現すること。	○	○	○	23
	定期考査および解説			○	○		1
	近現代の地域・日本と世界の画期と構造 【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、近代を展望する仮説を踏まえるとともに、「歴史総合」での学習の成果を活用して、近現代の地域・日本と世界の相互の関係を構造的に整理し、多様な視点から歴史に関わる諸事象について深い理解を図る	近現代の地域・日本と世界の画期と構造 【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	○	○	○	23
				○	○	○	23

2 学 期							
	定期考査および解説			○	○		1
	地域統合の進展と課題 【知識及び技能】 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	る第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容の理解する	地域統合の進展と課題 【知識及び技能】 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	○	○	○	23
	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。	戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割や、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。	○	○	○	23
定期考査および解説			○	○		1	
3 学 期	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。	戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割や、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。	○	○	○	22
							合計
							210

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組 選択者

使用教科書：（詳説世界史 世界史探究、山川詳説世界史図録第5版）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	西ヨーロッパ世界、東アジア世界の展開、アジア諸地域の繁栄と大航海時代・ルネサンス・宗教改革 【知識及び技能】 中世文化、モンゴル帝国、明、西アジアのイスラム諸王朝の歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について考察させる 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスの思想や、芸術作品につ	・西ヨーロッパの変容 ・モンゴル帝国 ・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国の興亡 ・ルネサンス ・大航海時代 ・宗教改革 教科書、プリント、資料集	【知識及び技能】 ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について考察している 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスの思想や、芸術作品について調べられている。	○	○	○	11
	主権国家体制の形成 【知識及び技能】 主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの革命や、フランス絶対王政について考察させる。プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史の相関性を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いについて調べさせる。	・主権国家と封建国家 ・スペイン、イギリス、フランス、プロイセン、オーストリア、ロシア ・アジアへのヨーロッパの進出 教科書、プリント、資料集	【知識及び技能】 主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの革命や、フランス絶対王政について考察している。プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史の相関性を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いについて調べられている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	市民革命とナショナリズムの高揚 【知識及び技能】 イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 フランス革命の背景、経緯、影響について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について調べさせる。	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンの征服活動 教科書、プリント、資料集	【知識及び技能】 イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 フランス革命の背景、経緯、影響について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について調べられている。	○	○	○	25
	近代国民国家の発展 【知識及び技能】 ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について調べさせる。	・ウィーン体制 ・ウィーン会議 ・七月革命と二月革命による自由主義の高まり ・1848年革命 教科書、プリント、資料集	【知識及び技能】 ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について調べられている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	アジア諸地域の動揺・帝国主義 【知識・技能】 オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解させる。 【思考・判断・表現】 清など東アジア世界で起こった衰退や植民地化について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義によって生まれた教の対立が、世界大戦に影響御与えるまでを調べさせる	・オスマン帝国やムガル帝国の衰退 ・東アジア世界の衰退と植民地化 ・アジア、アフリカ、太平洋分割 教科書、プリント、資料集	【知識・技能】 オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解している。 【思考・判断・表現】 清など東アジア世界で起こった衰退や植民地化について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義によって生まれた教の対立が、世界大戦に影響御与えるまでを調べられている。	○	○	○	25
	二つの世界大戦 【知識・技能】 第一次・第二次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解させる。 【思考・判断・表現】 ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の	・第一次世界大戦の流れ ・第二次世界大戦の流れ ・ヴェルサイユ体制の成立 ・大戦後のアジア各国 教科書、プリント、資料集	【知識・技能】 第一次・第二次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解している。 【思考・判断・表現】 ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	30

2 学 期	ノン・グレート・パワーの形成と発展、戦間アジア 諸国の政策について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について調べさせる。		【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について調べられている。	○	○	○	○
	定期考査			○	○		1
	戦後世界の展開 【知識・技能】 国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解させる。 【思考・判断・表現】 20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦や戦後世界の展望が現代にどのようなつながりがあるかを調べさせる。	・国際連合 ・戦後の冷戦の勃発 ・第三世界の台頭 ・ソ連崩壊後の世界 教科書、プリント、資料集	【知識・技能】 国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解している。 【思考・判断・表現】 20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦や戦後世界の展望が現代にどのようなつながりがあるかを調べられている。	○	○	○	30
	【知識・技能】 入試問題演習に取り組み、これまでの内容随総復習し、学力を高める。 【思考・判断・表現】 史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。	・大学入試演習	【知識・技能】 入試問題演習に取り組み、これまでの内容随総復習し、学力を高める。 【思考・判断・表現】 史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。	○	○		25
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識・技能】 入試問題演習に取り組み、これまでの内容随総復習し、学力を高める。 【思考・判断・表現】 史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。	・大学入試演習	【知識・技能】 入試問題演習に取り組み、これまでの内容随総復習し、学力を高める。 【思考・判断・表現】 史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。	○	○		10

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 教養近現代史

教 科： 地理歴史 科 目： 教養近現代史 単位数： 2 単位 2

対象学年組：第 3 学年 必選講座

使用教科書：（ 明解 歴史総合(帝国書院)）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本の国土や歴史に対する理解することや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 0	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本の歴史を理解することや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 歴史と私たち	【知識及び技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付きが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現でき	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。	○	○		2
単元 近代化への問い	【知識及び技能】	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察	【知識・技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けてい				

	【知識及び技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 出した情報と題意に結びつける技能を身に付けられる。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	単元 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国				

	解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	単元 近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 国際秩序の変化や大衆化への問い 【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱うことができる。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	1
	単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	単元 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の終結と、戦後国際社会の形成について、資料を読み取り、理解している。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の終結と、戦後国際社会の形成について、資料を読み取り、理解している。				

じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・一人1台端末の活用 等 - データでプリントを配信、ファイルを編集	新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
単元 日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 - 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 - 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 - データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	7
単元 再出発する世界と日本 【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 - 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 - 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 - データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
単元 グローバル化への問い 【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けられる。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。	・指導事項 - 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 - 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 - データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	1
単元 冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 - 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 - 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 - データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4

	冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。						
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	単元 多極化する世界 【知識・技能】 冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元 グローバル化のなかの世界と日本 【知識・技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
							合計
	定期考査			○	○	○	1
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度 教科

公民

科目 政治・経済

単位数： 4 単位

教科： 公民
 科目： 政治・経済

対象学年組： 第 3 学年 必修選択

使用教科書： 『2025ズームアップ政治・経済資料』（実教出版）

教科 公民
 の目標：

【知識及び技能】 社会的な事象を理解する上での基礎的な知識および資料を読み取る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的課題に対して、資料やデータに基づき、自分なりの考えを持つ力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 自分とは立場や環境が異なる人々の視点を想像しつつ、社会的な課題について考える姿勢を身に付ける。

科目 政治・経済
 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会における社会制度などの背景にある思想や理念を理解した上で、歴史的な資料や法的な文章、経済指標などのデータを正確に読み取る力を身に付ける。	現代の社会的課題に対して、法的な文章や経済指標、過去の思想家の主張などを踏まえた上で自分なりの意見を持つことができる。	社会的な課題に直面している人々の立場に立ち、多角的・多面的な視点で物事を捉えようとする姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	世界の政治制度 大日本帝国憲法と日本国憲法 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・議院内閣制と大統領制の比較をすることができる。 ・世界の政治体制の特徴を理解する。 ・大日本帝国憲法の成立とその特徴について理解する。 ・日本国憲法の成立とその特徴について理解する。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10
	国民主権と議会制民主主義 内閣と行政の民主化	・国民主権の意義と議会制民主主義の特徴を理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。				

1 学期	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・日本の国会の特徴と課題からよりよい立法府の在り方について考えることができる。 ・日本の議院内閣制の特徴を理解できる。 ・近年の行政改革の長所と短所を踏まえ、行政府が抱える課題について考えることができる。	【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
	裁判所と人権保障 地方自治と住民の福祉 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・日本の司法制度の特徴を理解できる。 ・司法権の独立が掲げられる意義を判例などから読み取ることができる。 ・地方自治の本旨に基づいた地方自治の理念について理解できる。 ・日本の地方行政が抱える課題について考え、自分なりの考えを持つことができる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10
	国家主権と国際法 国際連合の役割 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・国家主権（対外的主権）の意味を理解できる。 ・国際法の歴史と現代社会における役割を理解できる。 ・国際連盟と比較した国際連合の機能を理解できる。 ・現在の国際連合が抱える課題について理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
2 学期	核兵器の廃絶と国際平和 地域紛争と南北問題 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・核軍拡、核軍縮の歴史と課題を理解できる。 ・NGOなどが国際平和への取り組みに貢献していることを踏まえ、自分ができることを考える。 ・世界各地で起きている地域紛争の背景が多様であることを理解できる。 ・紛争の背景にある人種・民族問題や経済格差があることを理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10
	貿易と国際収支 国際経済体制の展開 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・国際貿易に関する理論を理解し、国際取引の仕組みを図などから読み取ることができる。 ・国際収支の体系を理解し、資料を読み取ることができる。 ・国際経済体制の展開にある政治的な背景を理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
	発展途上国の経済 地域主義の動き 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・南北問題、南南問題などの経済格差について理解できる。 ・発展途上国の中で成長を遂げた国の要因と現状について理解できる。 ・EUをはじめとした地域統合の種類と変遷について理解できる。 ・地域統合のメリットとデメリットを説明することができる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10

	自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。						
	農業・食料問題 中小企業の現状と課題 雇用と労働問題 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・日本の農業行政の変遷を理解できる。 ・日本の農業の新しい取り組みを説明できる。 ・日本経済における中小企業の役割を理解できる。 ・日本の労働権の歴史を理解できる。 ・現代社会における労働問題について対策を考えることができる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
3 学期	問題演習						36
							合計
							140

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ							
教 科： 数学		科 目： 数学Ⅲ		単位数： 6 単位			
対象学年組：第 3 学年 3 組～ 5 組							
使用教科書：（ 数研出版 NEXT数学Ⅲ							
教科 数学		の目標：					
【知 識 及 び 技 能】		数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。					
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。					
【学びに向かう力、人間性等】		積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。					
科目 数学Ⅲ		の目標：					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法、2次曲線、複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 数列の極限 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数	【知識・技能】 数列の極限、無限等比数列、無限級数についての用語や表記および∞の意味、収束・発散について理解し、数列の極限を調べることができる。 【思考・判断・表現】 工夫して式変形し、数列の極限を求めることができる。簡単に求められない場合、はさみうちの原理を用いることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な数列について、nが大きくなるときに第n項がどのようになるかに興味をもち、積極的に調べようとする。	○	○	○	16
	B 関数 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数	【知識・技能】 分数関数、無理関数の定義域について理解し、簡単なグラフをかくことができる。 逆関数・合成関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的に求めることができる。 【思考・判断・表現】 方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、方程式、不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。	○	○	○	10
	C 関数の極限 数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性	【知識・技能】 右側極限、左側極限について理解し様々な関数について、それぞれの極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不定形を解消するように工夫して式変形し、x→±∞のときの関数の極限を求めることができる。中間値の定理を直感的に理解し、それを用いて解の存在について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単に求められない極限について、様々な角度から検討しようとする。連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。	○	○	○	16

1 学期			る。				
	D 微分法	・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・いろいろな導関数 ・第 n 次導関数 ・曲線の方程式と導関数	【知識・技能】 関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。 定義にしたがって導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 学んだ公式を組み合わせて、どのような関数を微分できるようになったか認識し、どの公式を用いるか判断して関数の微分ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の性質について、証明しようとする。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	E 2次曲線	・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・2次曲線と離心率 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用	【知識・技能】 2次曲線の特徴や性質を理解し、様々な方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たす点の軌跡として、2次曲線の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な2次曲線の概形を考察しようとする。	○	○	○	20
	F 微分法の応用	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ ・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	【知識・技能】 増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。また、不等式が証明できている理由を理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
2 学期	G 積分法	・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 ・定積分とその基本性質 ・定積分のいろいろな問題	【知識・技能】 様々な関数の不定積分、定積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数の大小と定積分の大小の関係をういたり、定積分を図形の面積とみたりし、不等式の証明をするなど様々な問題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単には不定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。	○	○	○	41
	H 積分法とその応用	・面積 ・体積 ・道のり ・曲線の長さ	【知識・技能】 曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 x 軸、 y 軸周りの回転体の体積を求めることができる。 座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 定積分がどの部分の面積を表すか読み取り、面積を2通りに表示することができる。立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定積分を用いると、既習の円錐の体積や球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとする。	○	○	○	39
	定期考査			○	○		1
	I 複素数平面	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	【知識・技能】 1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、点を複素数平面上に表すことで、様々な問題に活用することができる。 【思考・判断・表現】 複素数の図形的な意味を活用して、描く図形について、その式の意味も含めて考察したり説明したりできる。。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	40

			図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。				
	定期考查			○	○		1
3学期	入試演習						42
							合計
							280

年間授業計画 様式例

高等学校
 令和7年度（3学年用）
 教科
 数学
 科目
 数学応用

教科：数学
 科目：数学応用
 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 3組～5組

使用教科書：（数研出版 NEXT数学Ⅲ）

教科 数学 の目標：
 【知識及び技能】数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学応用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法、2次曲線、複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	A 数列の極限 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	- 数列の極限 - 無限等比数列 - 無限級数	【知識・技能】 数列の極限、無限等比数列、無限級数についての用語や表記および ∞ の意味、収束・発散について理解し、数列の極限を調べることができる。 【思考・判断・表現】 工夫して式変形し、数列の極限を求めることができる。簡単に求められない場合、はさみうちの原理を用いることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な数列について、 n が大きくなるときに第 n 項がどのようになるかに興味をもち、積極的に調べようとする。	○	○	○	16
	B 関数 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	- 分数関数 - 無理関数 - 逆関数と合成関数	【知識・技能】 分数関数、無理関数の定義域について理解し、簡単なグラフをかくことができる。 逆関数・合成関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的に求めることができる。 【思考・判断・表現】 方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、方程式、不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。	○	○	○	10
	C 関数の極限 数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	- 関数の極限 - 三角関数と極限 - 関数の連続性	【知識・技能】 右側極限、左側極限について理解し様々な関数について、それぞれの極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不定形を解消するように工夫して式変形し、 $x \rightarrow \pm \infty$ のときの関数の極限を求めることができる。中間値の定理を直感的に理解し、それを用いて解の存在について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単に求められない極限について、様々な角度から検討しようとする。連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。	○	○	○	16
	D 微分法	- 微分係数と導関数 - 導関数の計算 - いろいろな導関数 - 第 n 次導関数 - 曲線の方程式と導関数	【知識・技能】 関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。 定義にしたがって導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 学んだ公式を組み合わせることで、どのような関数を微分できるようになったか認識し、どの公式を用いるか判断して関数の微分ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の性質について、証明しようとする。	○	○	○	24
	定期考查			○	○		1

2 学 期	E 2次曲線	・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・2次曲線と離心率 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用	【知識・技能】 2次曲線の特徴や性質を理解し、様々な方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たす点の軌跡として、2次曲線の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な2次曲線の概形を考察しようとする。	○	○	○	20
	F 微分法の実用	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ ・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	【知識・技能】 増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。また、不等式が証明できている理由を理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	G 積分法	・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 ・定積分とその基本性質 ・定積分のいろいろな問題	【知識・技能】 様々な関数の不定積分、定積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数の大小と定積分の大小の関係を用いたり、定積分を図形の面積とみたりし、不等式の証明をするなど様々な問題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単には不定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。	○	○	○	41
2 学 期	H 積分法とその応用	・面積 ・体積 ・道のり ・曲線の長さ	【知識・技能】 曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。x軸、y軸周りの回転体の体積を求めることができる。座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 定積分がどの部分の面積を表すか読み取り、面積を2通りに表示することができる。立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定積分を用いると、既習の円錐の体積や球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとする。	○	○	○	39
	定期考査			○	○		1
	I 複素数平面	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	【知識・技能】 1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、点を複素数平面上に表すことで、様々な問題に活用することができる。 【思考・判断・表現】 複素数の図形的な意味を活用して、描く図形について、その式の意味も含めて考察したり説明したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試演習						42
							合計
							280

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。	
科目 数学演習α	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
数学Ⅰや数学Aについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけ、来るべく共通テストに備える。	命題、図形の性質や計量、関数関係やデータの散らばりや変量間の関係など、様々な事象について論理的に考察して表現する力、問題の解決過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 1. 数と式 【知識及び技能】 ・乗法公式と因数分解の反復演習を行い、計算力の向上をめざす ・平方根、分母の有理化、二重根号の計算の習熟をはかる ・1次不等式・2次不等式・連立不等式の解法力の向上をめざす 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	12
	B 単元 2. 集合と命題 【知識及び技能】 ・命題の真偽判定、逆・裏・対偶の述べ方、必要・十分条件に関する演習問題の習熟をめざす ・対偶利用証明法、背理法の活用の習熟をめざす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	C 単元 3. 2次関数 【知識及び技能】 ・平方完成、平行移動、対称移動、放物線の方程式の決定等問題解法力の向上をめざす ・定義域制限があるときの最大値・最小値の求値方法の習熟をめざす ・2次方程式の解の特性、不等式と2次関数との関係を理解し応用力向上をめざす 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフかくなどして多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	12

	組む						
	D 単元 4. 図形と軽量 【知識及び技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する ・正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導く ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	E 単元 5. データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	14
	F 単元 6. 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する ・具体的な事象を基に順列及び組合せの総数を求めること 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	13

2 学 期						
	定期考查			○	○	1
	G 単元 7. 第2章 図形と性質 【知識及び技能】 ・円に関する基本的な性質について理解する ・空間図形に関する基本的な性質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	14
	H 単元 8. 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解する ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察する ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	13
	定期考查			○	○	1
3 学 期	I 単元 9. 補充問題 【知識及び技能】 ・タイプ別問題の反復演習を行い、総合問題の解法力向上をめざす ・上級学校入試過去問題演習を通して解法力向上をめざす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・入試問題演習を通じて、素早く正確に解く力を身に付けさせる 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考查 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	36

									合計 140

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習β

教科： 数学 科目： 数学演習β 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ リンク数学演習ⅠAⅡBC ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数字を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習β	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
数学ⅠⅡABCにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、1次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。高次方程式を、因数分解などの方法でより低い次数の方程式に帰着することで解いたり、その解について考察したりできるようにする。	数学Ⅱ ・式と証明 ・複素数と方程式	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22
	座標や式を用いて、円についてその性質を数学的に表現できるようにし、直線との関係、円どうしの関係など事象の考察に活用できるようにする。図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識し、軌跡の方程式が求められるようにする。また、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する。さらに、軌跡や領域を事象の考察に活用できるようにする。微分係数や導関数の意味について理解し、多項式で表された関数の導関数が求められるようにする。また、関数のグラフの接線が求められるようにする。導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかくたり、定期考査	数学Ⅱ ・図形と方程式 ・微分法と積分法	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22
				○	○		1
	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解し、それらを多面的に考察できるようにする。指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事象の考察に活用できるようにする。対数の定義とその性質を理解し、対数関数、特に常用対数を事象の考察に活用できるようにする。	数学Ⅱ ・三角関数 ・指数関数と対数関数	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22

	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。	数学C ・平面上のベクトル ・空間のベクトル	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○ 22
	定期考査			○	○	1
2 学期	数列、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したりい、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	数学B ・数列 数学A ・場合の数と確率	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○ 44
	定期考査			○	○	1
	図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したりい、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	数学A ・図形の性質 数学I	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○ 42
	定期考査			○	○	1
3 学期		演習	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○ 32
						合計

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習γ

教 科： 数学 科 目： 数学演習γ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

使用教科書：（ クリア数学Ⅱ＋B＋C ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習γ		の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
数学Bや数学Cについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけ、来るべく共通テストに備える。	ベクトル、数列、統計的な推測など、様々な事象について論理的に考察して表現する力、問題の解決過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 1. 平面上のベクトル 【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの性質を理解し、その演算力の向上をめざす ・平面上のベクトルの内積の求め方、及び内積の利用方法の習熟をはかる ・平面上の位置ベクトルの性質を理解し、その図形への活用の習熟をめざす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形をベクトル方程式で表すことにより、図形を多面的に捉える ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルを問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	B 単元 2. 空間のベクトル 【知識及び技能】 ・空間のベクトルの性質を理解し、その演算力の向上をめざす ・空間のベクトルの内積の求め方、及び内積の利用方法の習熟をはかる ・空間の位置ベクトルの性質を理解し、その立体図形への活用の習熟をめざす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・空間のベクトルを用いて立体図形内の平面や直線との関係を論理的に考察する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	C 単元 3. 数列 【知識及び技能】 ・等差数列の性質を理解し、その一般項や和を求められるようにする ・等比数列の性質を理解し、その一般項や和を求められるようにする ・Σ記号を利用して、様々な数列の和を求められるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列を問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	13

2 学 期	定期考査			○	○		1
	C 単元 3. 数列 【知識及び技能】 ・階差数列を用いて一般項を求められるようにする ・様々な漸化式の一般項を求められるようにする ・数学的帰納法を用いて、等式や不等式を証明できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・与えられた漸化式の一般項を推測し、それを数学的帰納法を用いて証明できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D 単元 4. 統計的な推測 【知識及び技能】 ・二項分布の期待値・分散・標準偏差を求められるようにする ・正規分布の性質を理解し、それを応用した様々な問題を解けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、正規分布を問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	18
	合計 70						

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年）教科

理科 科目 物理

教 科：理科 科 目：物理

対象学年組：第 3 学年 組～ 組 必選

使用教科書：（ 総合物理 1, 2 数研出版

教科 理科

【知識及び技能】自然の事物や現象に対する興味を持ち、原理・法則を基に理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験、観察に関する基本的な知識・技能を身に付ける

【思考力 判断力 表現力等】自然の事物・現象の中に法則性を見出し、法則性をもとに自然をとらえ、得られた結果を他人に説明できるよう表現力を身に付けさせる。

【学びに向かう力・人間性等】自然の事物・現象に思いを馳せ、本質の知識などを理解しようとする態度を養い、その際に、他の人と協力し合って探求する姿勢を育てる。

科目 物理 ①目標

科目	物理	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
	自然の事物・現象に関わり、物理の見方・考え方を働かせ、法則によって理解したり、観察・実験を通して理解しようとする態度や技能を身に付けるようにする。	教科にしばられず、さまざまな事物・現象に興味を持ち、物理との関連を見いだして物理的に理解を深めそれを表現できる力を養う。	物理の基本的な知識や考え方を、きちんと理解しようとする態度を養う。その際、身近な級友と協力し合う姿勢を育てる。さらに、日常的に社会と教科の関連に興味を持たせる。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第1編 力と運動 第5章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 【知識及び技能】 物体の運動を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を式やグラフで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習したことを、日常生活の運動にあてはめて考える。	・指導事項 平面上で生じる等速円運動を、どのように分析、解釈するか考え方を身につけさせる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 等速円運動の速度から、加速度の大きさは変わらず、その向きが中心に向くことを理解できる。 慣性力の向きと大きさを理解している。 【思考・判断・表現】 等速円運動の運動方程式について理解し、取り扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの現象に対し、等速円運動の運動方程式をあてはめて特徴を捉える 周囲の人と協力して疑問を解決する	○	○	○	13

1 学 期	第1編 力と運動 第5章 円運動と万有引力 4. 万有引力 第4章 運動力の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存 3. 反発係数 【知識及び技能】 物体の運動を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を式やグラフで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習したことを、日常生活の運動にあてはめて考える。	・指導事項 円運動の知識を用い、天体の運動を説明する。この説明より導かれる万有引力について理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 衝突前後の物体の運動について、運動量や力積から計算ができる。 【思考・判断・表現】 物体の衝突について、運動量や反発係数を用いて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な運動を、グラフや式で表現しようとする。周囲の人と協力して疑問を解決する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第2編 熱と気体 第2章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 【知識及び技能】 気体の性質を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の性質を分子の運動から理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 三重なり気体分子の運動を思考によって想像する。	・指導事項 気体の法則について理解させる。気体の法則について、気体分子の運動から説明できることを示す。これらの指導を通して、現象をより基本的なもののから説明できることを示す。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 気体の性質や現象を、気体分子の運動から計算できる。 【思考・判断・表現】 気体分子の運動を基に、気体の性質がどのように表れるか想像し、それを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体分子の運動を想像し、そこから表れる期待の性質について主体的に考える。	○	○	○	13
	第3編 波 第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折 【知識及び技能】 光の干渉条件を計算に用いる。 【思考力、判断力、表現力等】 光の干渉性を波動的性質から説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の干渉状態から、現象を理解する。	・指導事項 光には動的な性質があることを示す。特に光の干渉性について理解を深め、光の干渉性により生じる現象について定性的な理解の上で、定量的に説明できるようにする。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 光の持つ性質や、表す現象を知り、これらが波の性質から現れることを知る。また、現れる現象を計算により求めることができる。 【思考・判断・表現】 光の表す現象について、波動的な性質から定性的に説明をする。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の表す現象や性質について興味を持ち、自ら簡単な実験をして確認をする。また、現象について自分の知識で説明しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第4編 電気と磁気 第1章 電場 1. 静電気力	・指導事項 遠隔力である静電気力を、電場を用い理解する。静電気の現象か	【知識・技能】 静電気力の性質について理解し、その現象について電場から説明できるようにする。これにより、電場				

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象に関わり、物理の見方・考え方を働かせ、法則によって理解したり、観察・実験を通して理解しようとする態度や技能を身に付けるようにする。	教科にしばられず、さまざまな事物・現象に興味を持ち、物理との関連を見いだして物理的に理解を深めそれを表現できる力を養う。	物理の基本的な知識や考え方を、きちんと理解しようとする態度を養う。その際、身近な級友と協力し合う姿勢を育てる。さらに、日常的に社会と教科の関連に興味を持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 力と運動 第2章 運動の法則 6. 剛体にはたらく力のつり合い 【知識及び技能】 剛体にはたらく力のつり合いについて、計算によって求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 組み合わせられた物体系について、力のモーメントを用いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物体のつり合いについて考察する。	・指導事項 力のモーメント導入の必要性を理解し、使えるようにする。それによって、剛体にはたらく力のつり合いを計算できるようにする。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 力のモーメントを導入し、剛体にはたらく力のつり合いを計算できるようにする。 【思考・判断・表現】 日常使用する道具の仕組みを力のモーメントから理解しようとする、など。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具などの仕組みに力のモーメントが関わっていることに興味を持つ、など。	○	○	○	6
	第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度 3. 落体の運動 第2章 運動の法則 3. 運動の法則 【知識及び技能】 平面上の運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動法則をベクトルで理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活の運動を運動法則で理解する。	・指導事項 直線運動に関して復習sをしながら、平面運動について説明をし、平面運動を取り扱うときの手法や注意点を説明する。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 取り扱う運動が、直線的な運動から平面的な運動に変わるとベクトルの知識を用いることを理解する。さらにベクトルの取り扱いにより計算できる。 【思考・判断・表現】 平面的な運動になったとき、運動と力の関係を直感的に理解し、定性的に簡潔な説明ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的に近くにある物体の運動について、運動の法則にあてはめて説明しようとする。	○	○	○	8
	定期考查			○	○	○	1
	第3編 波 第1章 波の性質 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 【知識及び技能】 波の性質を式で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平面的に広がる波の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 平面的に広がる波を身近な現象からさがす	・指導事項 正弦波について、式により計算できることを示す。また、平面的に広がる波について説明をし、平面的に広がることにより現れる性質について理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 平面的に広がる波について、そこに現れる現象を理解する。また、正弦波を表す式によって、波の現象を定量的に理解する。 【思考・判断・表現】 平面的に広がる波の現象を、発展的に理解する。また、正弦波の式を用い、これまで学習した波の性質を計算による導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面的に広がる波の性質を基に、波に関わる現象を説明しようと試みる。	○	○	○	6
	第3編 波 第2章 音 1. 音の伝わり方 3. 音のドップラー効果 【知識及び技能】 平面的に広がる音の性質を知る。	・指導事項 音についても、平面的に広がる場合について説明を知り解させる。また、ドップラー効果について生じる原因と、どのように現象が現れるか理解させる。	【知識・技能】 平面的に広がる音の現象を波の性質から説明する。ドップラー効果で聞かれる音の振動数を計算できる。 【思考・判断・表現】 日常生活で聞くことができるドップラー効果について				

	【思考力、判断力、表現力等】 見えない音を波のイメージで理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音の干渉性やドップラー効果を、身近なところからさがす。	・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	て計算から求め、その大きさを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でドップラー効果がどのようなときに聞けるかがす。また、ドップラー効果を利用する装置について調べる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第4編 電気と磁気 第2章 電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体 【知識及び技能】 電流について、電子の流れから理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 導体や半導体の違い、抵抗率の差を電子の流れから理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 電流の性質を考慮した身近な電気回路につて興味を持ち、説明をしようと試みる。	・指導事項 電気回路の見方を説明し、定量的に取り扱える回路を増やす。また、電流を電子の流れとして理解させ、オームの法則の解釈や半導体内部で起きている現象についてミクロな現象から理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 電気回路について、どのように回路を理解するかを知る。オームの法則のあてはめ方を知り、複雑な回路について流れる電流を求められるようにする。 【思考・判断・表現】 電気回路を、自由電子が流れるモデルで理解をし、電気抵抗がどのように生じるか、半導体と導体の違いはどのようなものかを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 複雑な回路に対しても、回路をうまく理解して、どのような電流が流れるか想像し、できれば計算をする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	第4編 電気と磁気 第3章 電流と磁場 1. 磁場 2. 電流の作る磁場 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力 【知識及び技能】 電流と電流が生じる磁場について、現象から理解し、計算により力の大きさなどを求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 現象から推測できる力の向きや、電子の運動の向きを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 電磁気の知識により、現象を説明しようと試みる。	・指導事項 磁場による現象について、特に電流が生じる磁場を中心に紹介し理解させる。特に、電流が磁場から受ける力について、ミクロな現象という視点から、運動する電子が受ける力であることを理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示	【知識・技能】 電流が作る磁場について理解し、電流が磁場から受ける力を中心に、力の大きさ、電流の大きさなどを定量的に扱えるようにする。 【思考・判断・表現】 電流が磁場から受ける力を、電流のミクロな見方、運動する電子が磁場から受ける力の合力として理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 目に見ることができない電子の動きから、電流が磁場から力を受けるのは電子が受けるローレンツ力が原因であることに興味を持つ。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第5編 原子 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 【知識及び技能】 電気磁気に関する簡単な理解と計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 電流に関する現象を電子の動きから理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 電気に関する知識を、日常生活にあてはめて考えられる	・指導事項 電磁気の知識を基に、原子の構造をどのように理解してきたかを理解させる。また、原子核の性質についても、電磁気の知識と歴史的実験から想像させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示 授業内容に関する調べ学習	【知識・技能】 原子核について、その構造と性質を理解する。 【思考・判断・表現】 原子核の構造や、その性質がどのような事実から解明されてきたかを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子核の構造や、その性質について興味を持つ。	○	○	○	7

第5編 原子 第2章 原子と原子核 4. 核反応と核エネルギー 5. 素量子 【知識及び技能】 歴史的な実験より、原子核について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験結果などから、核力について推定 定期考査	・指導事項 核反応について理解させ、そこから原子核の性質について理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示 授業内容に関する調べ学習	【知識・技能】 原子核について、その構造と性質を理解する。 【思考・判断・表現】 原子核について、その構造と性質を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子核の構造や、その性質について興味を持つ。また、そのエネルギー利用について自分なりの考えを持つ。	○ 			

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学演習α

教 科： 理科 科 目： 化学演習α 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

使用教科書：（ 東京書籍 「化学基礎」 ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習α	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などについて理解するとともに、科学記述の発展と人間生活とのかかりについて認識を深めようとする。 また、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けるようにする。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事物・現象に関わり、これらの中に問題を見出し、見通しを持って実験・観察を行い、その結果を分析・考察する中で、科学的な考え方や表現方法を理解するとともに、科学的に探究する活動を通して、規則性を見出したり課題を解決したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然現象に対し、科学的に見ることができる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元(1)ア(7) 化学と物質 単元(2)ア(7) 物質の構成粒子 【知識及び技能】 化学と物質および構成粒子について、化学と物質および構成粒子を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質および構成粒子について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 化学と物質および構成粒子に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 【教材】 ・チェック&演習 化学基礎（数研出版） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、物質とその分離、熱運動と物質の三態、原子の構造と周期表に関する知識が身についている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物質とその分離、熱運動と物質の三態、原子の構造と周期表に関する知識を使って実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元(2)ア(4) 物質と化学結合 単元(3)ア(7) 物質量と化学反応式 【知識及び技能】 物質と化学結合および物質量と化学反応式について、化学結合および物質量と化学反応式を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合および物質量と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合および物質量と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 【教材】 ・チェック&演習 化学基礎（数研出版） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、化学結合や溶液に関する知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物質量や濃度に関する基本的計算ができる。また、化学反応式と量的関係を理解し、実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12

	定期考査			○	○	1
2 学 期	単元(3)ア(イ) 化学反応⑦中和 【知識及び技能】 化学反応について、化学反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 【教材】 ・チェック&演習 化学基礎（数研出版） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、酸と塩基に関する知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・中和滴定に関する実践問題や実験考察問題を考える力が身についており事象を適切に表現することができる。	○	○	12
	定期考査			○	○	1
	単元(3)ア(イ) 化学反応⑧酸化と還元 【知識及び技能】 化学反応について、化学反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 【教材】 ・チェック&演習 化学基礎（数研出版） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、酸化還元に関する知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酸化還元の量的関係までを理解し、実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	12
	定期考査			○	○	1
3 学 期	入試問題演習 【知識及び技能】 入試に必要な知識および技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 思考力等を必要とする入試問題に対応し、説明できること。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題を主体的に解き、科学的に考えて解き直し等を行うこと。	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。 【教材】 ・チェック&演習 化学基礎（数研出版） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識及び技能】 ・化学基礎全般の知識が身についている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・化学基礎全般の知識を土台に実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	18
						合計 70

対象学年組：第 3 学年

使用教科書：（ 東京書籍 「化学 Vol.1 理論編」「化学 Vol.2 物質編」 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物や現象に対する概念、原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し、思考力・判断力・表現力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習Ⅱ の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 芳香族化合物 【知識及び技能】 芳香族化合物について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 芳香族化合物の構造、性質や反応について、観察・実験などを通して探究し、関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	【指導事項】 ・芳香族炭化水素、フェノール類と芳香族カルボン酸、芳香族アミンとアゾ化合物、有機化合物の分離 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・リポートノート 化学⑤有機化合物（浜島書店） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識・技能】 芳香族化合物の構造や性質・反応について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 芳香族化合物の反応などについて、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	単元 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について理解するとともに、それらの実験映像などを通して知識と技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、性質や特徴を探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物に関することに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	【指導事項】 ・高分子化合物の性質、天然高分子化合物、合成高分子化合物 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・リポートノート 化学⑤有機化合物（浜島書店） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】 課題の指示出し、授業復習用のパワーポイントのアップなど	【知識・技能】 高分子化合物について、性質などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、実験の映像などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	単元 無機物質 【知識及び技能】	【指導事項】 ・非金属元素、金属元素、遷移元	【知識・技能】 無機物質について、性質などを理解しているとともに				

2 学 期	無機物質について理解するとともに、それらの実験映像などを通して知識と技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】無機物質について、性質や特徴を探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】無機物質に関することに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	素、無機化学工業 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・セミナ 化学基礎＋化学（第一学習社） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】課題の指示出し、授業復習用のパワーポイントのアップなど	に、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】無機物質について、実験の映像などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】無機物質に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	入試問題演習 【知識及び技能】入試に必要な知識および技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】思考力等を必要とする入試問題に対応し、説明できること。 【学びに向かう力、人間性等】入試問題を主体的に解き、科学的に考えて解き直し等を行うこと。	【指導事項】化学全範囲の復習 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・セミナ 化学基礎＋化学（第一学習社） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】課題の指示出しなど	【知識・技能】入試に必要な化学の全範囲について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録方法などの基本的な技能も身に付けている。 【思考・判断・表現】化学全範囲について、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】入試問題に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりし、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試問題演習 【知識及び技能】入試に必要な知識および技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】思考力等を必要とする入試問題に対応し、説明できること。 【学びに向かう力、人間性等】入試問題を主体的に解き、科学的に考えて解き直し等を行うこと。	【指導事項】化学全範囲の復習 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・セミナ 化学基礎＋化学（第一学習社） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】課題の指示出しなど	【知識・技能】入試に必要な化学の全範囲について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録方法などの基本的な技能も身に付けている。 【思考・判断・表現】化学全範囲について、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】入試問題に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりし、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	36
							合計
							140

年間授業計画 様式例
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学演習γ
 教 科： 理科 科 目： 化学演習γ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年
 教科担当者：（ 高水 ）
 使用教科書：（ 東京書籍 「化学 Vol.1 理論編」「化学 Vol.2 物質編」 ）
 教科 理科 の目標：
 【知 識 及 び 技 能】自然の事物や現象に対する概念、原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し、思考力・判断力・表現力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 芳香族化合物 【知識及び技能】 芳香族化合物について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 芳香族化合物の構造、性質や反応について、観察・実験などを通して探究し、関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	【指導事項】 ・芳香族炭化水素、フェノール類と芳香族カルボン酸、芳香族アミンとアゾ化合物、有機化合物の分離 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・リポートノート 化学⑤有機化合物（浜島書店） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント	【知識・技能】 芳香族化合物の構造や性質・反応について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 芳香族化合物の反応などについて、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について理解するとともに、それらの実験映像などを通して知識と技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、性質や特徴を探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物に関することに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	【指導事項】 ・高分子化合物の性質、天然高分子化合物、合成高分子化合物 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・リポートノート 化学⑤有機化合物（浜島書店） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】 課題の指示出し、授業復習用のパワーポイントのアップなど	【知識・技能】 高分子化合物について、性質などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、実験の映像などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元 無機物質 【知識及び技能】 無機物質について理解するとともに、それらの実験映像などを通して知識と技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、性質や特徴を探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 無機物質に関することに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	【指導事項】 ・非金属元素、金属元素、遷移元素、無機化学工業 【教材】 ・チェック&演習 化学（数研出版） ・セミナ 化学基礎＋化学（第一学習社） ・ニューステージ化学図表（浜島書店） ・自作プリント 【一人1台端末の活用】 課題の指示出し、授業復習用のパワーポイントのアップなど	【知識・技能】 無機物質について、性質などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 無機物質について、実験の映像などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 無機物質に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12

	・情報伝達にかかわる受容体タンパク質のはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・尿崩症の原因を、腎臓の細胞におけるアquaretinの存在と関連づけて考えることができる。また、尿崩症の治療法について考え、説明することができる。 ・情報伝達物質を介した細胞間の情報伝達がうまくいかない場合の原因について、これまで学習した生命現象を例にあげて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報伝達や情報伝達にかかわるタンパク質に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・物質のはたらきについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	情報伝達や情報伝達にかかわるタンパク質について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報伝達や情報伝達にかかわるタンパク質について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識・技能】 ・体内で起こる化学反応の一部は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体内の化学反応のうち、酸化還元反応を伴う反応では、大きなエネルギーの出入りが起こることを理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・代謝とエネルギーに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 体内で起こる化学反応の一部は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 代謝とエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 代謝とエネルギーについて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝とエネルギーについて、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	呼吸と発酵 【知識及び技能】 ・呼吸では有機物が酸化され、その際に取り出されたエネルギーを用いてATPが合成されることを理解する。 ・発酵では酸素を用いずに有機物が分解され、ATPが合成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・呼吸と発酵では、グルコース1分子から得られるATP量に大きな違いがある理由を説明することができる。 ・呼吸基質と呼吸商の関係を理解し、与えられた呼吸商をもとに、各呼吸基質の分解に使われた酸素の割合を計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・呼吸と発酵に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 光合成では、光エネルギーを用いてATPとNADPHが合成され、これらを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 呼吸と発酵について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 呼吸と発酵について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 呼吸と発酵について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	光合成 【知識及び技能】 ・光合成では、光エネルギーを用いてATPとNADPHが合成され、これらを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光リン酸化と酸化還元反応の共通点を説明することができる。 ・光合成において、葉緑体のチラコイド内外のH⁺の濃度差と、ATP合成速度の関係を調べるに必要な実験を考え、説明することができる。 ・ATP合成酵素の基本構造が原核生物と真核生物の間で共通している理由について、進化の観点から仮説を立て、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 DNA について、2 本のスクレオザド鎖の方向性をふまえた詳しい構造を理解する。DNA が正確に複製される詳しいしくみを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 光合成について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 光合成について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光合成について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	DNAの構造と複製 【知識及び技能】 ・DNAの複製のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの複製に関する資料に基づいて、DNAの複製のしくみを見いだすことができる。 ・岡崎フラグメントの存在を示唆する実験データに基づいて、岡崎フラグメントが存在することを論理的に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの構造と複製に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 DNA の遺伝情報を写し取って、RNA が合成されるしくみを理解する。転写されたRNA から、タンパク質が合成されるしくみを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 DNAの構造と複製について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 DNAの構造と複製について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの構造と複製について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	遺伝情報の発現 【知識及び技能】 ・遺伝情報の発現のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原核生物と真核生物の遺伝情報の発現の過程を表した資料を比較し、遺伝子発現の過程の違いを見いだすことができる。 ・DNAの塩基では、ウランシではなくチミンが用いられている理由を考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝情報の発現に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 遺伝子の発現が、環境の変化などに応じて変化することを理解する。原核生物と真核生物において、それぞれの遺伝子発現が調節されるしくみを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 遺伝情報の発現について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報の発現について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	遺伝子の発現調節 【知識及び技能】 ・遺伝子の発現が調節されていることを理解する。 ・原核生物と真核生物において、遺伝子の発現が調節されるしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子の発現調節に関する資料に基づいて、遺伝子の発現が調節されていることを見いだすことができる。 ・ラクトースオペロンに突然変異が生じた2種類の突然変異株に野生株のDNAを導入する実験の結果に基づいて、それぞれの突然変異株についてDNAのどの領域に異常があったのかを推定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子の発現調節に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 発生の過程で、遺伝子の発現調節によって細胞が分化するしくみを理解する。細胞の分化を引き起こす遺伝子の発現調節は、細胞内の物質のはたらきや、他の細胞からのはたらきかけによって起こることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 遺伝子の発現調節について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝子の発現調節について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の発現調節について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	発生と遺伝子発現 【知識及び技能】 ・発生の過程で、遺伝子の発現調節によって細胞が分化するしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同じ遺伝情報をもつ細胞が異なる細胞に分化する要因として、細胞質に含まれる物質が分裂の際に不均等に分配されることが、周囲の細胞からの刺激があることを理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発生と遺伝子発現に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 遺伝子を扱うさまざまな技術について、その原理を理解する。遺伝子を扱うさまざまな技術が、私たちの生活に与える影響を理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 発生と遺伝子発現について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 発生と遺伝子発現について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】 ・遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子組換え技術によって、ある生物の遺伝子を用いた生物に発現させることができる理由を考え、説明することができる。 ・mRNAワクチンと従来のワクチンを比較し、mRNAワクチンの利点や問題点について考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子を扱う技術に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 視覚は、目の網膜で受容された光刺激の情報が、神経によって脳に伝えられて生じることを理解する。受容器の種類によって、刺激を受け取るしくみがそれぞれ異なることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 遺伝子を扱う技術について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝子を扱う技術について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用		○	○		1
	刺激の受容 【知識及び技能】 ・目の網膜で受容された光刺激の情報が、神経によって脳に伝えられ、視覚が生じることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・視細胞の分布に関する資料に基づき、盲点の存在を見いだすことができる。 ・ヒトの視覚経路の構造について理解し、視神経を切断した場合の見え方と関連づけて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・刺激の受容に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 ニューロンの興奮は細胞膜で生じる電気的な変化であり、イオンチャネルやポンプのはたらきで生じることを理解する。ニューロンに生じた興奮が軸索を伝わり、シナプスを介して次のニューロンへと伝えられることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 刺激の受容について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	ニューロンとその興奮 【知識及び技能】 ・ニューロンの興奮が細胞膜で生じる電気的な変化であることを、イオンチャネルやポンプの働きを踏まえて理解する。 ・ニューロンに生じた興奮が次のニューロンへと伝えられるまでの過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・軸索を刺激する実験の資料に基づき、ニューロンの興奮に見られる性質を見いだすことができる。 ・神経伝達による実験の資料に基づき、伝導や伝達に要する時間を計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ニューロンとその興奮に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 ヒトの神経系が、末しょう神経系と中枢神経系から構成されていることを理解する。ヒトの脳の構造とはたらきについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 ニューロンとその興奮について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ニューロンとその興奮について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニューロンとその興奮について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6

3 学 期	情報の統合 【知識及び技能】 ・ヒトの神経系の構造について理解する。 ・ヒトの脳の構造とそれぞれの部位がもつはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・反射が無意識のうちに起こる理由を、興奮の伝達経路と関連づけながら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報の統合に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 植物は、周囲の環境の変化を感じて、自らのからだを適切な時期に適切な状態へと変化させていることを理解する。環境からの情報の伝達には、植物ホルモンがはたらいていることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 情報の統合について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報の統合について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の統合について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	刺激への反応 【知識及び技能】 ・代表的な筋系である筋肉の構造について理解する。 ・筋肉が、神経系から伝達してきた刺激を受け取って収縮するしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・死後硬直のしくみについて、筋肉収縮のしくみに着目しながら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・刺激への反応に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素は、周囲の環境の変化を感じて、自らのからだを適切な時期に適切な状態へと変化させていることを理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 刺激への反応について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激への反応について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激への反応について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	動物の行動 【知識及び技能】 ・動物の行動は、遺伝的にプログラムされた生得的な行動と経験によって変化する学習行動によって形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ショウジョウバエの求愛行動が、雄と雌の互いの行動によって連鎖的に進行していくことを、雌雄の神経回路の違いと関連づけながら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・動物の行動に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 動物の行動について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
							合計
							140

年間授業計画 様式例
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物演習α
 教 科： 理科 科 目： 生物演習α 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 3 学年
 使用教科書：（ 数研出版『新編 生物基礎』 ）
 教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の物事・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験とうに関する基本的な技能を身に付けようとする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 ・ 2 ・ 3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 生物基礎に関する知識及び技能 【思考力、判断力、表現力等】 生物基礎に関する思考力、判断力、表現力等 【学びに向かう力、人間性等】 生物基礎に関する学びに向かう力、人間性等	・指導事項 問題演習を行い、実践力を養う ・教材 教科書、問題集（浜島書店 つかひ生物基礎 等）、資料集 ・一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の際などで使用	【知識・技能】 生物基礎について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物基礎について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物基礎について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	70
							合計
							70

年間授業計画 様式例
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物演習γ
 教 科： 理科 科 目： 生物演習γ 単位数： 単位
 対象学年組：第 3 学年 選択必修科目
 教科担当者：（近澤）
 使用教科書：（ 数研出版『生物』 ）
 教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の物事・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物演習γ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験とうに関する基本的な技能を身に付けようとする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	生物の起源と生物の進化 【知識及び技能】 ・生命の起源について、化学進化を経て生命が誕生したことを理解する。 ・細胞の進化によって地球環境が変化したり、地球環境の変化が進化に影響したりしてきたことを理解する。	・指導事項 生命の起源として、無機物から有機物が生じ、有機物の量を増やから「細胞」が生じたと考えられていることを理解する。生物が代謝を通じて地球の環境を変化させてきたこと、地球の環境の影響を受けて生物が進化してきたことを理解する。 ・教材	【知識・技能】 生命の起源と生物の進化について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命の起源と生物の進化について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現				

1
学期

	【思考力・判断力・表現力等】 ・生物の分布の変化は、最初の生物が地上ではなく海洋中で誕生した理由について考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生命の起源と生物の進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と生物の進化について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	遺伝子の変化と多様性 【知識及び技能】 ・生物の性質の変化は、環境変異によって生じることを理解する。 ・突然変異による遺伝的な多様性をもちたすことを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・遺伝子の変化と形質の変化を示した資料を比較し、遺伝子が変化するとは、遺伝子をもとにつくられるタンパク質が変化し、その結果形質が変化することを見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子の変化と多様性について関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 生物の形質の変化は、遺伝子の変化によって生じることを理解する。突然変異によって、遺伝的な多様性が生じることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 遺伝子の変化と多様性について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝子の変化と多様性について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と多様性について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	遺伝子の組み合わせの変化 【知識及び技能】 ・有性生殖では、減数分裂・受精を経て遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。 ・減数分裂の過程で、染色体の交換により遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。 ・連鎖と組み換えのしくみを理解する。 ・減数分裂の過程により生じることがある。 ・無性生殖の場合、親と子で遺伝子の組み合わせがどうなるのかを考え、説明することができる。 ・ショウジョウバエの交配実験の結果を示した資料に基づいて、遺伝子の組み合わせが変化する多様化していることを見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子の組み合わせの変化について関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 減数分裂の過程では、染色体の交換により遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。有性生殖においては、親から子へと遺伝子が受け継がれる過程で、遺伝子の組み合わせが変化する。連鎖と組み換えのしくみを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 遺伝子の組み合わせの変化について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝子の組み合わせの変化について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の組み合わせの変化について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	進化のしくみ 【知識及び技能】 ・自然選択と遺伝的浮動によって遺伝子頻度に変化することを理解する。 ・隔離を経て種分化が生じることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・異なる種が生まれることはあるが、その子からは子が生れない理由を考え、説明することができる。 ・鎌状赤血球症とマラリアの発生に関連がある理由について考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進化のしくみについて関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 遺伝的浮動と自然選択によって遺伝子頻度に変化することを理解する。隔離によって種分化が生じやすくなることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 進化のしくみについて、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 進化のしくみについて問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進化のしくみについて、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	生物の系統と進化 【知識及び技能】 ・塩基配列やアミノ酸配列によって、生物の系統を推定できることを理解する。 ・ドメイン、種、属などの分類群について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・異なるシロアリ属の2つの系統樹を複数の種で比較した資料に基づいて、アミノ酸配列の進化をもとに生物の系統が推定できることを見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の系統と進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列から、生物の系統を推定できることを理解する。生物が、系統に基づいて3つのドメインに分類されることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 生物の系統と進化について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の系統と進化について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	人間の系統と進化 【知識及び技能】 ・人間の系統を理解する。 ・人類は直立二足歩行を行うという点で他の生物とは異なることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・7割の遺伝子について、チンパンジーの熱安定性に関するデータをもとに系統を推定し、さらに分岐年代を推定することができる。 ・直立二足歩行を行うことのデメリットについて考えたり調べたりしてまとめ、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の系統と進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 人間が、霊長類のうちの類人猿から進化したことを理解する。人類の特徴として、直立二足歩行を行うことが重要であることを理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 人間の系統と進化について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間の系統と進化について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の系統と進化について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	定常平衡			○	○		1

2
学期

	植物の生活と植物ホルモンの働き 【知識及び技能】 ・植物は周囲の環境の変化を感じ、その環境に応答することを理解する。 ・環境からの情報伝達に植物ホルモンがはたらいていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・エチレンの発生や伝達していることを確かめるためにどのような実験を行えばよいのかを考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・植物の生活と植物ホルモンに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 植物の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 植物の生活と植物ホルモンについて、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の生活と植物ホルモンについて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の生活と植物ホルモンについて、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	芽生えの調節 【知識及び技能】 ・植物の種子が、周囲の環境を感じて休眠・発芽するしくみを理解する。 ・植物の種子が、周囲の環境を感じて休眠・発芽する意義を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・光を芽生えの発芽を促す。根本の真下の上下での各成長の光の割合と関連づけて、光芽生えがもたらす利点を見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・芽生えの調節に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 芽生えの調節について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 芽生えの調節について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 芽生えの調節について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	成長の調節 【知識及び技能】 ・植物の成長が光や重力などの要因によって調節されていることを理解する。 ・植物の成長の調節に植物ホルモンが関わっていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・光や重力の感知と調節に関与する基盤で働く理由について考え、説明することができる。 ・植物が重力方向を感じて成長できなくなった場合、自然界での成長においてどのような不都合があるかを考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・成長の調節に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 成長の調節について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 成長の調節について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 成長の調節について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	器官の分化と花芽形成の調節 【知識及び技能】 ・植物は、葉、茎、根、花などの器官への分化を通して成長していくことを理解する。 ・植物の器官の分化は周囲の環境の変化や成長の段階に応じて調節されていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・植物の成長様式を踏まえて、ある木の幹につけた痕が時間経過によってどうなるかを考え、説明することができる。 ・花芽の形成は成長によって引き起こされることの利点について考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・器官の分化と花芽形成の調節に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 器官の分化と花芽形成の調節について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 器官の分化と花芽形成の調節について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 器官の分化と花芽形成の調節について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	環境の変化に対する応答 【知識及び技能】 ・植物が水の取り入れを調節するしくみを理解する。 ・植物の防御応答について理解する。 ・光に防御反応を誘発している植物と食害を受けてから防御物質を合成する植物を比較し、それぞれが有利・不利になる環境を考え、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・環境の変化に対する応答に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・指導事項 酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集 ～一人1台端末の活用 等 画像、動画視聴や調べ学習の類などで使用	【知識・技能】 環境の変化に対する応答について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 環境の変化に対する応答について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境の変化に対する応答について、主体的にかかわり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	配子形成と受精 【知識及び技能】 ・雄・雌の配子の形成と受精のしくみを理解する。 ・雄・雌の配子の形成と受精の成熟のしくみを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】	・指導事項 配子の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。酵素反応を調節するしくみについて理解する。 ・教材 教科書、問題集、資料集	【知識・技能】 配子形成と受精について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 配子形成と受精について、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現する				

1 学 期	天候等自時にポイントを押さえ、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。		天候等自時にポイントを押さえ、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	バスケットボール（男女） ・パス練習の応用 ・シュート練習の応用 ・オフェンス練習の応用 ・ディフェンス練習の応用 ・ゲーム練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	ダンス（女） ・エアロビクス運動の習得（回す、屈伸、跳ぶ、ステップ、倒す、バランス、波動、連続した動きなど） ・創作ダンス発表のための個人練習 ・創作ダンス発表のための班練習	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	バレーボール（男女） ・トス練習の応用 ・レシーブ練習の応用 ・サーブ練習の応用 ・スパイク練習の応用 ・ブロック練習の応用 ・ゲーム練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	水泳（男女） ・4泳法習得のための練習 ・長く泳げるようにできる練習 ・実技テストに向けての個人練習	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	水泳（男女） ・4泳法習得のための練習 ・長く泳げるようにできる練習 ・実技テストに向けての個人練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	卓球（男） ・基礎打ちから応用練習 ・パートナーとの連携を考えた打球コース ・サービスからの3球目攻撃 ・レシーブからの4球目攻撃 ・ゲーム練習	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	12

2 学 期							
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	バドミントン（男女） ・基本練習から応用練習 ・ドライブ練習・ヘアピン練習・クリアー練習 ・カット練習・ブッシュ練習・ドロップ練習 ・ハイクリアー練習・スマッシュ練習 ・ゲームルール説明（シングルス、ダブルス） ・ゲーム ・実技テストに向けての練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	15
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	バスケットボール（男女） ・パス練習の応用 ・シュート練習の応用 ・オフフェンス練習の応用 ・ディフェンス練習の応用 ・ゲーム練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	12
【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	フットサル（女） ・オリエンテーション（種目の特性、安全面の留意点及び施設の使用方法等について説明。ゲーム中、ルール説明） ・リフティング、トラッピング、ドリブルの練習 ・キック練習（インサイドキック、インステップキック、アウトサイドキック、ヒールキック） ・近い距離、遠い距離のパスやシュート ・パス、ドリブル、シュートの総合練習 ・ゲーム練習 ・実技テスト	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○		
3 学 期	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	持久走（男女） ・4 km走（女子）、5 km走（男子）タイムトライアル	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	体育理論（男女） ・健康の保持増進に寄与するトレーニング理論 ・生涯スポーツの取り組み方	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	3
							105

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7 年度

芸術 科目 総合音楽

教 科： 芸術 科 目： 総合音楽

単位数： 2 単位

対象学年組： 3年 選択

教科担当者： （千葉） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書： （ ）

教科 芸術 の目標：

(1) 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。

[illegible]

英語コミュニケーションⅢ

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
Lesson1 Fast, Safe, and Efficient!	<題材内容とねらい> ・日本・世界の高速鉄道の発達についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。	<文型・文法事項> ・分詞構文の否定形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、自分が好きな交通機関とその理由について説明しようとしている。	○	○	○	14
Lesson 2 The World's Most Efficient High-Speed Rail	<題材内容とねらい> ・世界の主要国も解決しようとする日本の	<文型・文法事項> ・無生物主語について理解を深め、これらを適切に活				

1 学期	Water for Life	・世界の水問題を解決している日本の井戸掘り技術についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・クラウドファンディングサイトを読み、本文と読み比べ、どの組織を支援したいか自分の考えを述べることができる。	・無生物土壌についての理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、水問題についてのプレゼンテーションをしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson 3 Athletes as Human Rights Leaders	<題材内容とねらい> ・アスリートが発する社会的なメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べるができる。	<文型・文法事項> ・進行形の受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 4 The Linguistic Genius	<題材内容とねらい> ・赤ちゃんの言語習得についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・実験説明のスクリプトを読み、本文と読み比べ、ある説を証明するのに適した実験を選んで具体的に説明できる。	<五領域の知識・技能> ・会話における音の変化について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・外国語を学習する目的について複数のパラグラフで書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	Lesson 5 Going Digital: What Does the Digital Age Bring?	<題材内容とねらい> ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。	<五領域の知識・技能> ・イギリス英語のスペリングについて理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 6 Mirrors of the Times	<題材内容とねらい> ・人類と病気の戦いの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・人物の伝記を読み、本文と読み比べることで理解を深め、その人物の説明を書くことができる。	<五領域の知識・技能> ・ダッシュの用法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・生活様式を環境に合わせることにについて複数のパラグラフで説明しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson 7 Eat Well, Play Well!	<題材内容とねらい> ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。	<五領域の知識・技能> ・コロンのセミコロンの用法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・自分でレシピを考え、それがどのように体によいかを書こうとしている。	○	○	○	14
	Lesson 8 The Bridge to the Science World	<題材内容とねらい> ・橋の構造と役割についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・橋の建築計画を聞き、本文の情報と比較し、どの地点にどの橋が適しているか、自分の考えを説明することができる。	<文型・文法事項> ・形容詞で始まる分詞構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・特徴的な建築物の紹介をしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson 9 Notorious RBG	<題材内容とねらい> ・ギンズバーグ判事の生涯についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	<文型・文法事項> ・if ...以外が条件を表す仮定法について理解を深めることができる。 <場面・状況など>				

3 学 期		・ギンズバーグ判事が実際に関わった判例を読み、本文と読み比べ、彼女が目指したものについて、自分の考えを説明することができる。	・男女差別について例を挙げ、自分の考えを複数のパラグラフで書こうとしている。	○	○	○	14
	Lesson 10 No Rain, No Rainbow	＜題材内容とねらい＞ ・三代達也さんの生き方について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・上地結衣選手のインタビュー記事を読み、本文と読み比べ、三代さんと上地選手の共通点について、やり取りして伝え合うことができる。	＜文型・文法事項＞ ・否定語を含まない否定について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜場面・状況など＞ ・バリアフリーの環境が大切な理由について、自分の考えをプレゼンテーションしようとしている。	○	○	○	13

年間授業計画 様式例							
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅲ				単位数： 2 単位			
教科： 外国語 科目： 論理表現Ⅲ							
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組							
使用教科書：（ MY WAY Logic & Expression III 〔三省堂〕）							
教科 外国語 の目標：							
【知識及び技能】英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの【思考力、判断力、表現力等】領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成す							
【学びに向かう力、人間性等】るとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。							
科目 論理表現Ⅲ の目標：							
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
外国語で目的や場面、状況などに応じ、論理的に意見や情報を伝えるための知識・技能を身につけている。		外国語で目的や場面、状況などに応じ、情報を整理しながら表現する力を身につけている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Lesson1 Lesson2	・動詞の種類 ・時制の一致と語法 （調査結果の発表/メールを送る）	・時制を正しく理解し、文章表現ができる。 ・動詞を適切に用いて表現ができる。 ・助動詞の基本用法が理解できる。	○	○	○	8
	Lesson3 Lesson4	・助動詞 ・不定詞 ・動名詞 （ブログを書く/会話で説明）	・助動詞の基本用法が理解できる。 ・不定詞の用法を正しく理解し、適切に文章化できる。 ・動名詞をふくむ慣用表現を書いたり、会話の中で使える。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson5 Lesson6	・分詞 ・分詞構文 ・比較 （会話で推薦/企画の提案）	・名詞を修飾する分詞、補語の働きをする分詞が理解できる。分詞構文が理解できる。 ・比較表現を原級・比較級・最上級全てを理解して、言語表現できる。 ・原級比較の基本と倍数表現が理解できる。比較級表現の基本が理解できる。	○	○	○	8
	Lesson7 Lesson8	・関係詞 ・仮定法 （意見の発表/招待メッセージの作成）	・関係代名詞のwhatが理解できる。目的格の関係代名詞の省略が理解できる。 ・仮定法を正しく理解して、適切に文章化できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	Lesson9 Lesson10	・名詞 ・代名詞 ・前置詞 ・接続詞 （解決策の提案/未来について発表）	・疑問詞の基本的用法が理解できる。 ・間接疑問と語順が理解できる。 ・部分否定と全体否定が理解できる。	○	○	○	16
	・1年間総復習	・動詞の語法 ・動詞、形容詞、名詞、副詞とその周辺 ・関係詞、接続詞、前置詞	・不定詞、動名詞のどちらかを目的語にとるか理解できる。目的語が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞を理解することができる。 ・自動詞、他動詞を見分けることができる。 have+0+done / have+0+doを含む文が理解できる。	○	○	○	14

3 学 期	・ 共通テスト対策	・ イディオム ・ 様々な語法	・ 語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。	○	○	○	8
							合計
							70

教科	外国語	科目	英語演習	単位数	2	単位
対象学年組	第 3 学年 1 組～ 7 組	使用教科書	(CreativeⅡ [第一学習社])			
教科	外国語	の目標	【知 識 及 び 技 能】英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの【思考力、判断力、表現力等】領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成する			
科目	英語演習	の目標	【学びに向かう力、人間性等】るとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	- Chapter1 - JETとのTeam Teaching	- 助動詞 - 動詞の種類 - 時制の一致と話法	- 時制を正しく理解し、文章表現ができる。 - 動詞を適切に用いて表現ができる。 - 助動詞の基本用法が理解できる。	○	○	○	8
	- Chapter2 - JETとのTeam Teaching	- 助動詞 - 不定詞 - 動名詞	- 助動詞の基本用法が理解できる。 - 不定詞の用法を正しく理解し、適切に文章化できる。 - 動名詞をふくむ慣用表現を書いたり、会話の中で使える。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	- Chapter3, 4 - JETとのTeam Teaching	- 分詞 - 分詞構文 - 比較	- 名詞を修飾する分詞、補語の働きをする分詞が理解できる。分詞構文が理解できる。 - 比較表現を原級・比較級・最上級全てを理解して、言語表現できる。 - 原級比較の基本と倍数表現が理解できる。比較級表現の基本が理解できる。	○	○	○	8
	- Chapter5, 6 - JETとのTeam Teaching	- 関係詞 - 仮定法	- 関係代名詞のwhatが理解できる。目的格の関係代名詞の省略が理解できる。 - 仮定法を正しく理解して、適切に文章化できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	- Chapter7, 8 - JETとのTeam Teaching	- 名詞 - 代名詞 - 前置詞 - 接続詞	- 疑問詞の基本的用法が理解できる。 - 間接疑問と語順が理解できる。 - 部分否定と全体否定が理解できる。	○	○	○	16
	- Chapter9, 10 - JETとのTeam Teaching	- 動詞の語法 - 動詞、形容詞、名詞、副詞とその周辺 - 関係詞、接続詞、前置詞	- 不定詞、動名詞のどちらを目的語にとるか理解できる。目的語が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞を理解することができる。 - 自動詞、他動詞を見分けることができる。 - have+0+done / have+0+doを含む文が理解できる。	○	○	○	14
3 学 期	・共通テスト対策	- イディオム - 様々な語法	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。	○	○	○	8

期							
							合計
							70

年間授業計画 様式例
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎演習
 教科： 家庭 科目： 家庭基礎演習 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 3 学年
 使用教科書：（ 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） ）
 教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎演習 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、関連する技能を身に付けるようにする。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	生活の充実向上に関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】 ・人の一生について、ライフステージ全体を見通し、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・よりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、主体的かつ協働的に取り組む。	・人生を展望する ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物	【知識及び技能】 ・青年期の発達課題や家族にかかわる様々な名称と内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者との価値観の違いに気づいたり、自立しなければいけないことを整理したりして考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立を達成するために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。	○	○	○	4
	第5章 共に生き、共に支える 【知識及び技能】 ・国や地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の課題の解決に主体的に取り組む。	・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物	【知識及び技能】 ・国や地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の課題の解決に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	第9章 経済生活を営む 【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会のかかわり、家計管理について理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についてライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立について考え、学習に主体的に取り組む。	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物	【知識及び技能】 ・成年年齢と照らし合わせながら、経済的自立の意味や生活に必要な支出と生活資金について理解している。 ・生活における経済と社会とのかかわりについて理解を深め、消費生活の現状と課題について情報の収集・整理が適切にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来送りたい生活をイメージし、実現するための方法について、実際の生活に即して具体的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活をめざそうとする意欲がある。	○	○	○	8
	第7章 衣生活をつくる 製作の基礎 【知識及び技術】 基礎縫い及び用具の正しい扱いを理解し、技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な裁縫技術に関して自己の課題発見と解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作の基礎について、主体的かつ協働的に取り組む。	・製作のための用具の扱い ・基礎縫い	【知識・技術】 ・基礎縫い及び用具の正しい扱いを理解し、技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・基本的な裁縫技術に関して自己の課題発見に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・基礎縫い、裁縫に必要な用具の扱いファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	8

	授業内確認テスト			○	○	1
2 学 期	第7章 衣生活をつくる 立体構成の被服製作 【知識及び技術】 被服製作に関する理論を理解し、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的、着用者の好み、季節に応じた材料選択を実施し、課題発見と解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む。	・ワンマイルパンツ製作 ・製作記録	【知識・技術】 ・被服製作に関する理論を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・目的、着用者の好み、季節に応じた材料選択を実施し、柄合わせ等の課題発見と解決に向けて考察、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服製作について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	18
	第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 ・乳幼児期の位置づけや重要性、発達の特徴を理解する。 ・子供の文化や遊び、表現活動について理解し、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健全な心身の発達について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 ・子供の健やかな遊びと表現活動について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子供の発達や文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。	・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・授業プリント ・授業への取り組み ・絵本の読み聞かせ	【知識及び技能】 ・乳幼児期の位置づけや重要性、発達の特徴を理解している。 ・子供の文化や遊び、表現活動について理解し、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健全な心身の発達について課題の発見と解決に向け考察し、工夫している。 ・子供の健やかな遊びと表現活動について課題の発見と解決に向け考察し、工夫している。 ・壁面構成の効果理解し、計画を立てて制作することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子供の発達や文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	12
	授業内確認テスト			○	○	1
3 学 期	第6章 食生活をつくる 計量の基本・基本的な調理技術 【知識及び技術】 基本的な調理技術 【思考力、判断力、表現力等】 器具の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 調理に主体的かつ協働的に取り組む。	・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理実習 ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 ・実習レポート	【知識・技術】 計量・基本の切り方、調理器具を理解し、実践している。 【思考・判断・表現】 計量・基本の切り方、調理器具の方法をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	14
	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】		【知識及び技能】 ・一生を過ごす体をつくるために食事の重要性について理解し、食生活や調理に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活について振り返り、社会的状況などと関連させながら課題の発見と解決に向けて考察し、工夫して表現している。	○	○	

70	・「食べる」ことの意義や重要性について考えるとともに、健康や環境に配慮した食生活について考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の食生活について振り返り、よりよい食生活に向けて主体的に取り組む。		【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の重要性を認識し、よりよい食生活を送るために自分の食習慣に向き合い、主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

高等学校

令和7年度（3学年用）

教科

情報

科目

情報Ⅱ

教科：情報

対象学年組：第 3 学年

使用教科書：（ 高等学校 情報Ⅱ

教科 情報

科目：情報Ⅱ

単位数： 2 単位

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】知識の習得や知識の概念的な理解、情報機器の操作の基本的な技術の習得ができています。
- 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

科目 情報Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけるとともに、情報社会と人とのかわりについて発展的に理解して、創造に参画する。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
	【学びに向かう力、人間性等】
	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	情報社会の進展と情報技術 ・情報技術の発展による人や社会への影響に着目し、情報社会の進展と情報技術の関係を歴史的にとらえられるようにする。	オリエンテーション ・情報Ⅱの学習目標と学習内容を理解する。 情報社会を実習から把握する ・噂の研究 ・地域分析シート ・AIと職業 ・POSシステム	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○	4
	情報社会の実情を把握し、様々な影響に関しての知識を得る	情報社会 ・情報社会の進展と情報技術 ・コミュニケーションの多様化 ・人間の知的活動への影響		○	○	○	3
	コミュニケーションとコンテンツ ・多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性に着目し、目的や状況に応じて情報デザインに配慮したコンテンツを制作し、思考力、判断力、表現力を身につける。	コンテンツ制作 実習 ・プログラムで絵を描こう ・楽しく体を動かそう ・情報をまとめよう情報社会 ・情報社会の進展と情報技術 ・コミュニケーションの多様化 ・人間の知的活動への影響 ・3Dの新製品の開発をしよう ・キャラクターを動かそう	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・リアクションペーパー	○	○	○	9
	メディアの特性と利用を考えてコンテンツの制作や発信について企画することができるようにする。	メディアのと特性と利用 コンテンツの制作 コンテンツの発信		○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	情報とデータサイエンス ・多様かつ大量のデータを活用することの有用性に注目し、データサイエンスの手法によりデータを分析し、その結果を読み取り解釈することができるように指導する。	データサイエンス 実習 ・データを地図上に可視化する。 ・ガチャは何回引けば当たるか ・データを整理しよう ・キーボードの配列を研究しよう ・星座ランキングを分析しよう ・好きなものをマップにしよう	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○	7
	データの種類や収集方法を理解し、必要なデータを取得し、整理するし、提案に結び付けることができるように指導する。	社会にあふれるデータ データベースの管理と操作 データの収集と整理 データの分析と分類 モデルの評価と検証		○	○	○	10
	情報システムとプログラミング ・情報システムの在り方や社会生活に及ぼす影響、情報の流れや処理の仕組みに着目し、情報システムの仕組みや役割を把握できるよう指導する。	情報システム 実習 ・ニャブレットを探せ ・顔検出とARを体験しよう ・小さな情報システムを作ろう ・テキストマイニングしてみよう ・掲示板システムをつくろう	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○	5
情報システムの技術や設計について学び、情報システムのプログラムがどのように構築されていくかを理解できるようにする。	情報システム 情報セキュリティ技術 情報システムの設計 情報システムのプログラム	○		○	○	8	
定期考査				○	○		1
3 学 期	1学期、2学期を通じて培った知識と技能を使って、卒業作品の制作に取り組む	ウェブページの制作 情報システム制作 映像作品の制作	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○	5
	自己の作品やウェブなどを通じて得た知識などをレポート形式でまとめて、提案書類として提出できるよう指導する。	プレゼンテーションの技法 ポスターセッション形式でのプレゼン		○	○	○	9
	定期考査				○	○	
							合計
							70